

第7回

リベラルアーツ  
×  
アニメ

芸術大学にとって、リベラルアーツ（教養）とは、なんなのでしょう。「音楽」や「幾何」が、古代から中世を通して、自由七学芸にも位置づけられていることを踏まえるなら、芸術はリベラルアーツの重要な一部でした。そして今もそうであると思いますから、名古屋芸術大学では、2017年度より芸術学部新しく芸術教養領域を創設しました。この公開講座は、今日のリベラルアーツをあらためて問うべく、「リベラルアーツ×X」(リベラルアーツかけるエックス)との題で、昨年度、一昨年度に引き続き、開催されます。教養と何か(X)をつなぐ、教養を何かで読み解く、あるいは何かをもつて教養に切り込む、そんな試みです。各界で活躍する方を講師にお招きし、それぞれの分野・テーマを教養とかけあわせてみる時、そこには何が生まれてくるのでしょうか。

場所：

名古屋芸術大学  
西キャンパスB棟2階大講義室  
〒481-8503  
愛知県北名古屋市徳重西沼65番地  
TEL：0568-24-0325

参加費：無料

問い合わせ先：

名古屋芸術大学  
リベラルアーツ  
インフォメーションセンター  
Tel&Fax：0568-22-0123  
Email：nua\_la@nua.ac.jp  
https://www.nua.ac.jp

「未来のリハーサル  
アニメを企画・プロデュース  
すること  
世界的デザイナー  
シド・ミードとの邂逅」

2019/5/11[土] 15:00-17:00

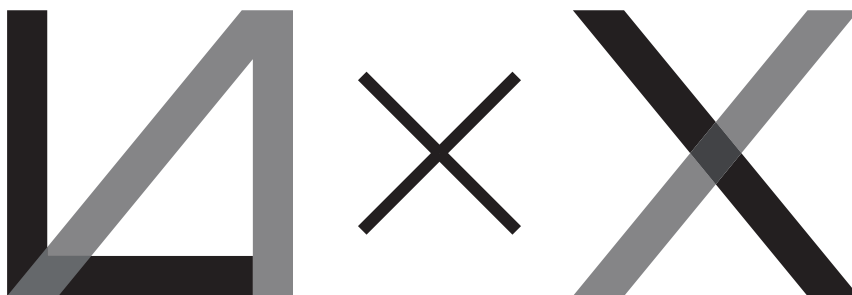


ウエダ マスオ  
植田益朗氏

略歴：

1955年、東京生まれ。『機動戦士ガンダムIII めぐりあい宇宙編』『銀河漂流バイファム』『シティーハンター』『黒執事』『あの日見た花の名前を僕たちはまだ知らない』『ソードアート・オンライン』など、アニメ業界で数々のヒット作を手がけたアニメプロデューサー。サンライズ、フリーランスを経てアニプレックス立ち上げ時に制作統括として参画。その後、A-1 Pictures 社長、アニプレックス社長・会長を歴任。現在は株式会社スカイフォール代表取締役。  
アニメ関係の豪華ゲストを招き、熱いトークで盛り上がるトーク番組「植田益朗のアニメ！マスマスホガラカ」も絶好調。  
『ブレードランナー』の世界観をデザインした鬼才シド・ミードの個展も主催。  
「シド・ミード展 PROGRESSIONS TYO 2019」  
2019年4月27日[土]～5月19日[日]東京・アーツ千代田 3331

LIBERAL ARTS × X | リベラルアーツ × X



【主催】名古屋芸術大学  
【協力】あいちトリエンナーレ実行委員会  
【企画】名古屋芸術大学芸術教養領域 リベラルアーツ総合研究所